

インフルエンザ発生動向調査 (2020/21 シーズン)

五十嵐笑子 畠田 嵩久 稲崎 倫子 佐賀由美子
 長谷川澄代 板持 雅恵 関口 健治¹ 平 麻衣子²
 野尻 麻友³ 関 理恵子⁴ 橋本 尚人⁵ 高木 優⁶
 谷 英樹

Epidemiological Surveillance of Influenza Virus Infection
in Toyama Prefecture, 2020-2021

Emiko IGARASHI, Takahisa SHIMADA, Noriko INASAKI, Yumiko SAGA,
 Sumiyo HASEGAWA, Masae ITAMOUCHI, Kenzi SEKIGUCHI, Maiko HIRA,
 Mayu Nojiri, Rieko SEKI, Naoto Hashimoto, Suguru TAKAGI,
 and Hideki TANI

感染症法に基づく感染症発生動向調査にしたがい、インフルエンザの発生状況の正確な把握と分析を行い、その結果を県民や医療機関へ迅速に提供・公開することにより、インフルエンザのまん延を防止することを目的として調査を実施した。2020/21 シーズンの患者発生状況およびウイルスの検出状況について報告する。

材料と方法

指定提出機関として、黒部市民病院（黒部市）、しむら小児科クリニック（高岡市）の協力を得て、合計2件（2020年10月19日および2021年1月7日採取）の検体について検査を行った。

検査方法は、患者から採取した鼻腔拭い液からRNAを抽出し、リアルタイム RT-PCR によるウイルス遺伝子の検出によって型・亜型の同定を行った [1]。インフルエンザウイルス陰性の検体については、ライノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、パラインフルエンザウイルス1～4型、コロナウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルス、ヒトボカウイルスを対象としたリアルタイム RT-PCR を行った [2]。

結果および考察

1. インフルエンザ患者発生状況

2020/21 シーズンにおけるインフルエンザ患者の最初の報告は2020年第48週（11/23～11/29）であった。今シーズンの定点医療機関当たり0.02～0.04人を推移しており、非常に少なかった。過去5シーズンで最も報告数が少なく、定点医療機関での累積患者報告数は10人であった（図1）。

「集団かぜ」による学級閉鎖等の措置は、0施設で、前シーズンの150施設と比べて学級閉鎖等の措置数が大幅に減少した（図2）。

2. インフルエンザウイルスの検出状況

2検体について、インフルエンザウイルスの遺伝子検出を試みたが、インフルエンザウイルスは検出されなかった。成績を表1に示す。

インフルエンザウイルスが陰性だった2検体のうち、1検体（10月採取）からライノウイルスが検出された。これは、インフルエンザ様疾患の検体であった。しかしながら、検体数が1件しかないことや、検体搬入が一部の医療機関に限られていることなどから、これらウイルスの地域

1. 新川厚生センター、2. 中部厚生センター、3. 高岡厚生センター、4. 砺波厚生センター、
 5. 富山市保健所、6. 富山県厚生部健康対策室

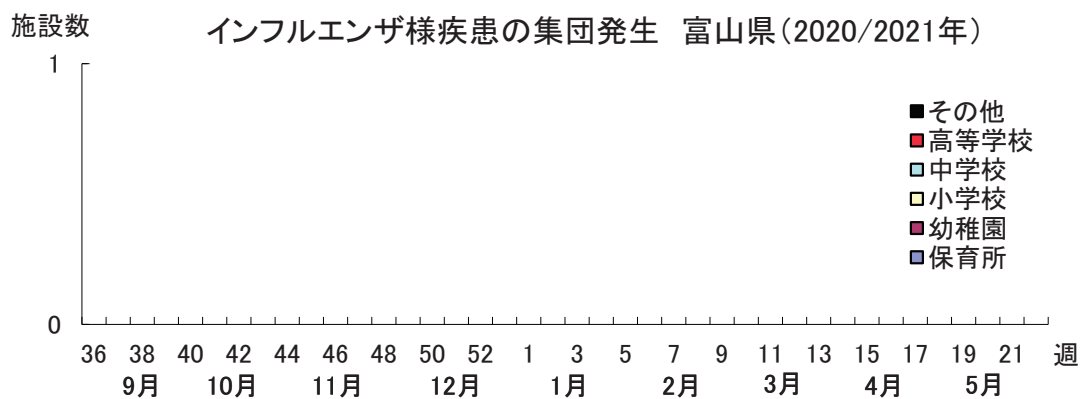
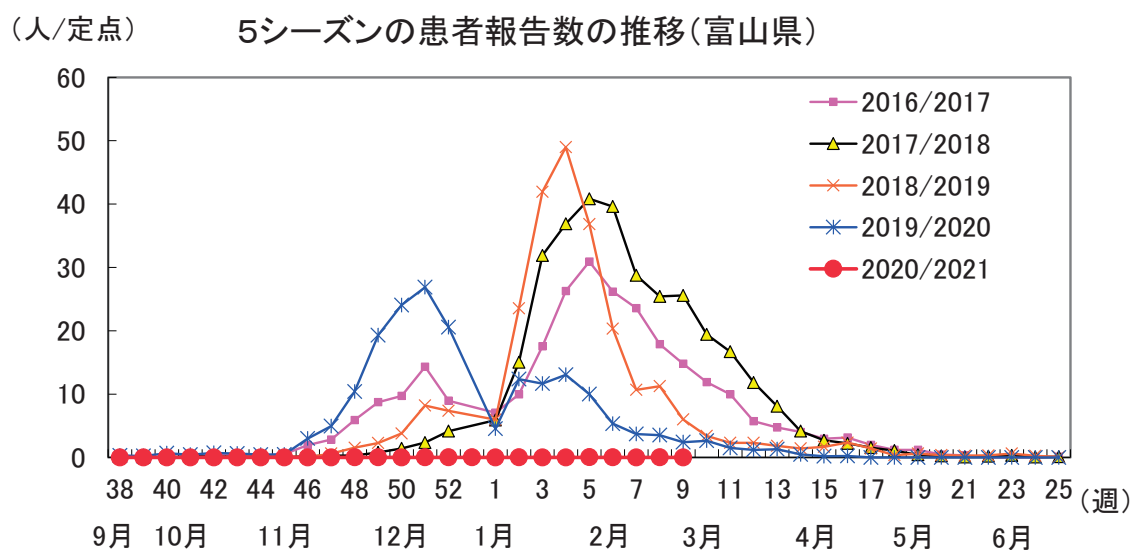


表1. 施設別インフルエンザウイルス検出数

管轄厚生 センター・ 保健所等	検体採取施設	採取日	検体数	検出数	型・亜型			
					AH1pdm	AH3	B(山形 系統)	B(ビクトリ ア系統)
新川	黒部市民病院	2020/10/19	1	0	0	0	0	0
高岡	しむら小児科クリニック	2021/1/7	1	0	0	0	0	0
合計			2	0	0	0	0	0

流行については不明である。

今シーズンのインフルエンザ患者報告数は非常に少なかった。新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでにない感染症予防対策が講じられているためにインフルエンザの感染も封じ込められていると考えられる。今後のインフルエンザの流行については、新型コロナウイルス感染症の流行状況と合わせて注視していく必要があると思われる。

謝 辞

検査材料の採取と臨床症状の調査にご協力いただいた黒部市民病院、しむら小児科クリニックに

深謝いたします。また、ご協力いただいた多数の関係各位に深謝いたします。

文 献

1. インフルエンザ診断マニュアル第4版(平成30年12月 国立感染症研究所監修)
2. Obuchi M, Yagi S, Oguri A, et al. (2015). Jpn J Infect Dis., 68, 259-261
3. 小淵正次, 五十嵐笑子, 畠田嵩久, 他.(2020). 富山県衛生研究所年報, 43, 99 - 101